

第5章 地域福祉活動計画を推進する体制

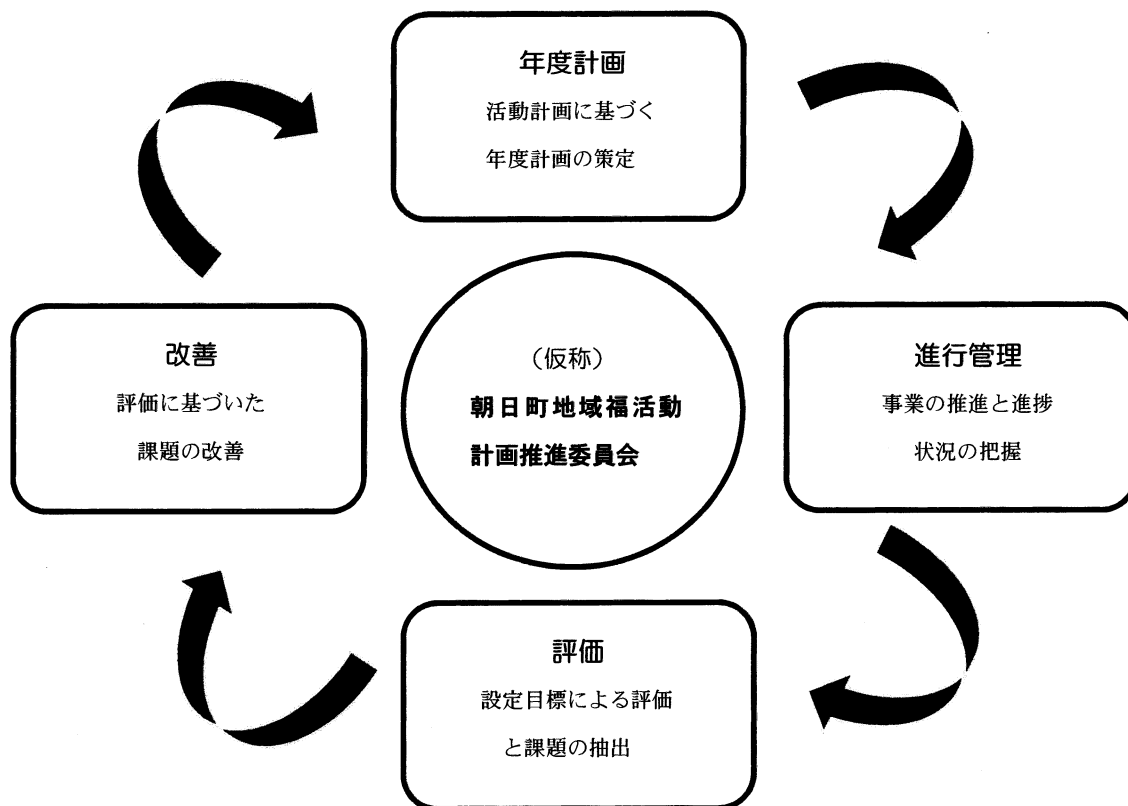
1 計画を推進するための組織図

基本理念である「オール朝日町で支える安心生活のまちづくり」の実現のために、本計画策定に携わった策定委員からなる「朝日町地域福祉活動計画推進委員会（仮称）」を設置し、年に1回程度進捗状況の評価を行います。

2 計画の進行管理

行政計画である「朝日町地域福祉計画」の進捗状況にかかる進行管理との照合を適切に行い、当町における地域福祉の推進に関する総合的検証を行います。

なお、本計画の進行管理においては計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルに基づき、実行します。



資料編

- ・ 第4次朝日町地域福祉活動計画策定経過
- ・ 第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
- ・ 第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会名簿
- ・ 第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会作業部会名簿
- ・ **参考資料1** 平成28年度地域福祉アンケート調査の結果
- ・ **参考資料2** 地域福祉懇談会 生活課題分析集計表

第4次朝日町地域福祉活動計画策定経過

期 日	内 容	備 考
平成30年6月1日	事務局検討会	
6月8日	第1回策定委員会 委員長、副委員長の選出 計画策定の背景と位置づけ	
7月9日	事務局検討会	
7月18日	第1回策定委員会作業部会 作業部会委員長、副委員長の選出 計画策定の背景と位置づけ	
9月3日	事務局検討会	
10月3日	第2回策定委員会作業部会 地域福祉懇談会の結果	
10月24日	事務局検討会	
11月9日	第3回策定委員会作業部会 基本理念、基本目標の素案検討 住民、関係団体へのアンケート実施について	
12月7日	第2回策定委員会 地域福祉懇談会、住民アンケート結果 基本理念、基本目標の素案検討 住民、関係団体へのアンケートの結果について	
平成31年2月14日	第4回策定委員会作業部会 計画（案）の検討	
2月21日	第5回策定委員会作業部会 計画（案）の修正	
2月28日	第3回策定委員会 計画（案）の検討 計画の審議、策定	

第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 朝日町における地域福祉の向上を図るとともに、今後の生活課題、福祉ニーズに対応するために、住民、行政や関係機関・団体との協働により第4次朝日町地域福祉活動計画（以下「活動計画」という）を策定することを目的に設置する。

(名称)

第2条 委員会の名称は、第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という）と称する。

(組織)

第3条 委員会は16名以内の委員をもって構成する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、朝日町社会福祉協議会長（以下「会長」という）が委嘱する。

- (1) 地域活動団体関係者
- (2) ボランティア団体関係者
- (3) 福祉関係機関・団体代表者
- (4) 学識経験者
- (5) 行政機関関係者
- (6) その他会長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委員会作業終了日までとする。

2 委員が任期の途中で交代した場合、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 この委員会に、委員長1名及び副委員長1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことはできない。

(作業部会)

第7条 活動計画の策定にあたり必要な事項や施策の検討及び推進を図るため、作業部会を置く。

2 作業部会は、次に掲げるものをもって組織する。

(1) 朝日町社会福祉協議会職員

(2) 行政機関職員

(3) その他会長が必要と認める者

3 作業部会には、部会長及び副部会長を置くものとし、部員の互選により選出する。

4 作業部会は、部会長が招集し、会議の議長となる。

(関係者の出席要請)

第8条 委員会または作業部会が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(事務局)

第9条 委員会の事務局は、朝日町社会福祉協議会内に置く。

(その他)

第10条 この要綱に定めのあるものの他必要な事項は、委員会で決定する。

附則

この要綱は、平成30年6月8日から施行する。

**朝日町地域福祉計画・第4次朝日町地域福祉活動計画
策定委員会 策定委員名簿**

No.	役職	氏名	所属	区分
1	委員長	野田 秀孝	富山大学 人間発達科学部 准教授	学識経験者
2	副委員長	加藤 昌夫	朝日町民生委員児童委員協議会長	福祉関係機関・団体代表
3	委員	川合 俊雄	朝日町いきいき連合会長	福祉関係機関・団体代表
4	委員	佐田 正秋	朝日町自治振興会連絡協議会長	地域活動団体関係者
5	委員	林 清唯	大家庄地区社会福祉協議会長	地域活動団体関係者
6	委員	谷 悦子	朝日町赤十字奉仕団委員長	ボランティア団体代表
7	委員	加藤 好進	朝日町身体障害者協会会長	福祉関係機関・団体代表
8	委員	澤田 雅文	特別養護老人ホーム有磯苑施設長	福祉関係機関・団体代表
9	委員	市森 房子	社会福祉法人にいかわ苑富山型共生の里あさひ施設長	福祉関係機関・団体代表
10	委員	松原 隆志	朝日町小中学校長会長	教育関係代表
11	委員	東山 考一	あさひ総合病院長	福祉関係機関・団体代表
12	委員	弓野 良子	朝日町女性団体連絡協議会長	福祉関係機関・団体代表
13	委員	池田 浩一郎	富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課長	学識経験者
14	委員	清水 明夫	朝日町住民・子ども課長	行政機関代表
15	委員	中島 優一	朝日町健康課長・朝日町在宅介護支援センター所長	行政機関代表
16	委員	蓬澤 正二	朝日町社会福祉協議会長	福祉関係機関・団体代表

**朝日町地域福祉計画・第4次朝日町地域福祉活動計画
策定委員会 作業部会委員名簿**

No.	役職	氏名	所属	区分
1	委員長	石丸 肇 美	朝日町健康課 課長代理(朝日町地域ケア係長)	行政機関 (地域包括支援センター)
2	副委員長	石橋 康 徳	朝日町健康課高齢福祉係 係長	行政機関
3	委員	若林 仁 美	朝日町健康課地域福祉係 係長	行政機関
4	委員	島田 亜由美	朝日町保健センター 係長(保健師)	行政機関(保健)
5	委員	野崎 幸 恵	朝日町住民・子ども課 課長代理(子ども係長)	行政機関
6	委員	鍛治 圭 太	あさひ総合病院地域医療連携室(社会福祉士)	行政機関(医療)
7	委員	岡崎 康 美	特別養護老人ホーム有磯苑(介護支援専門員)	施設
8	委員	小堀 志 保	社会福祉法人にいかわ苑 富山型共生の里あさひ グループホーム管理者	施設
9	委員	野村 博	特定非営利活動法人ゆきあかり 富山型デイサービスカエルの子理事長	施設
10	委員	水島 康 彦	朝日町社会福祉協議会 事務局長	社会福祉協議会
11	委員	小谷 春 美	朝日町社会福祉協議会 係長 (福祉活動専門員)	社会福祉協議会
12	委員	廣田 和 也	朝日町社会福祉協議会 主任 (福祉活動専門員)	社会福祉協議会
13	委員	濱田 有紀子	朝日町社会福祉協議会 主任 (ケアネット活動コーディネーター)	社会福祉協議会
14	委員	高野 勇 樹	朝日町社会福祉協議会 主事 (ボランティアコーディネーター)	社会福祉協議会
15	策定委員会委員長 (アドバイザー)	野田 秀 孝	富山大学 人間発達科学部 准教授	学識経験者
16	策定委員会委員 (アドバイザー)	池田 浩 一 郎	富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課長	学識経験者

参考資料 1

平成 28 年度地域福祉アンケート調査の結果

平成28年度地域福祉アンケート調査の結果

【調査の仕様】

調査地域	朝日町全域
調査対象	平成28年10月1日現在に朝日町に在住している20歳代～70歳代の住民
サンプル数	900人
抽出方法	層化無作為抽出
調査方法	民生委員児童委員による配付および回収
調査期間	平成28年10月1日～10月31日

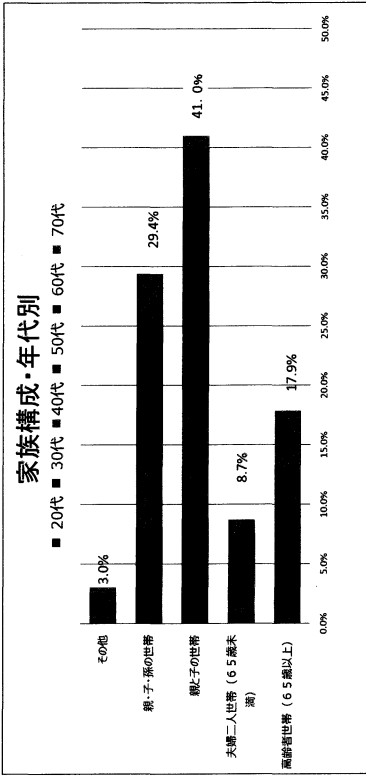
【回収状況】

配付数	回収数	男性	女性
900	777	371	406
回収率	86.3%	41.2%	45.1%

【年齢別人数】

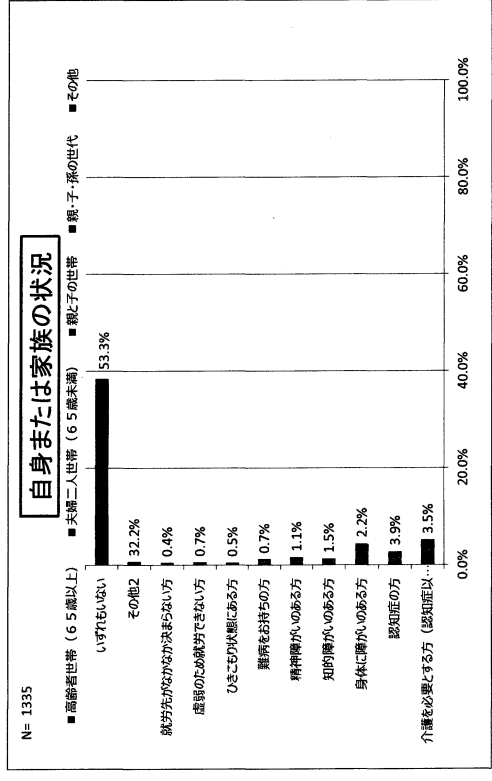
年代	人数	比率 (%)
20歳代	69	8.9
30歳代	67	8.6
40歳代	132	17
50歳代	139	17.9
60歳代	199	25.6
70歳代	171	22
合計	777	100

問5
問5-1

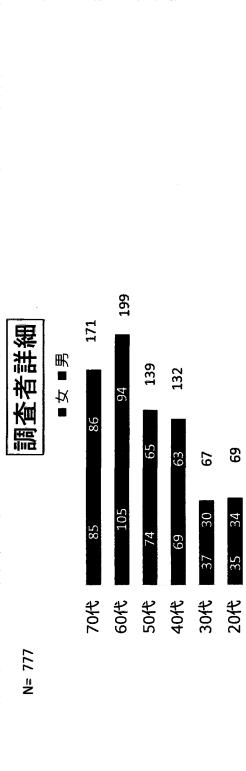


「親・子の世帯」が最も多く、41.0%、ついで、「親・子・孫の世帯」が29.4%、「高齢者世帯(65歳以上)」が17.9%となった。

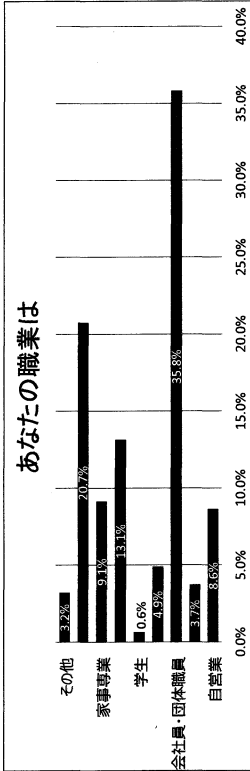
問7



「いづれもない」との回答が、53.3%と一番多い結果となった。「介護を必要とする方(認知症以外)」、「認知症の方」、「身体に障がいのある方」が全体の3.5%、3.9%、2.2%という結果となった。

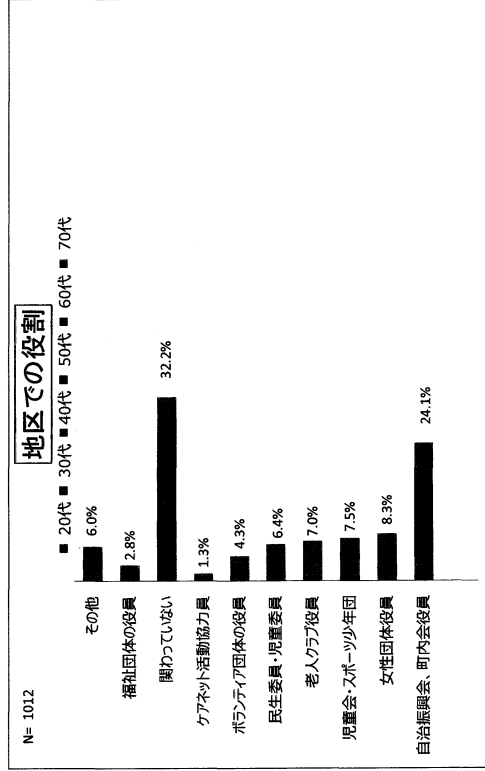


「会社員・団体職員」が最も多く35.8%、ついで「無職」が20.7%、「パート・アルバイト」が13.1%となった。

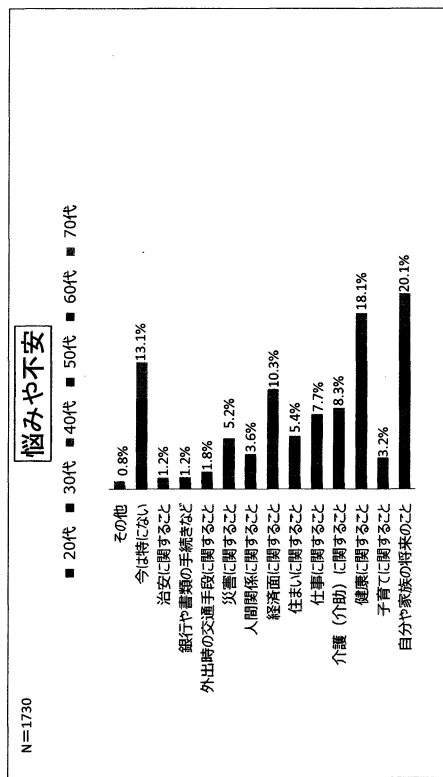


「会社員・団体職員」が最も多く35.8%、ついで「無職」が20.7%、「パート・アルバイト」が13.1%となった。

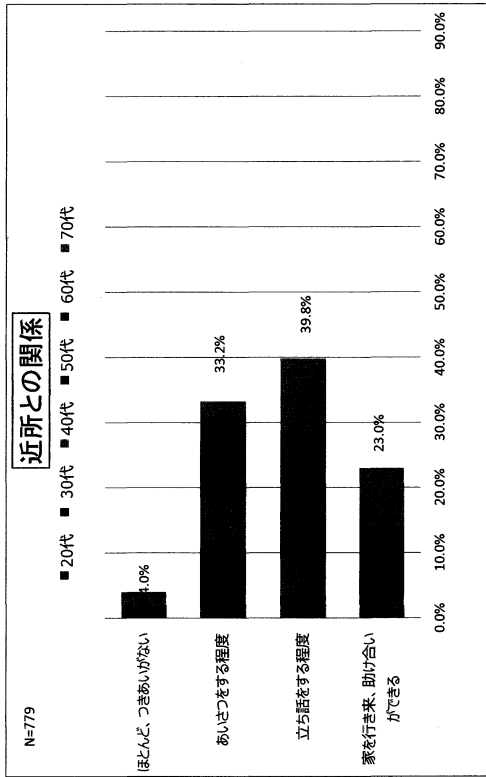
38
問6



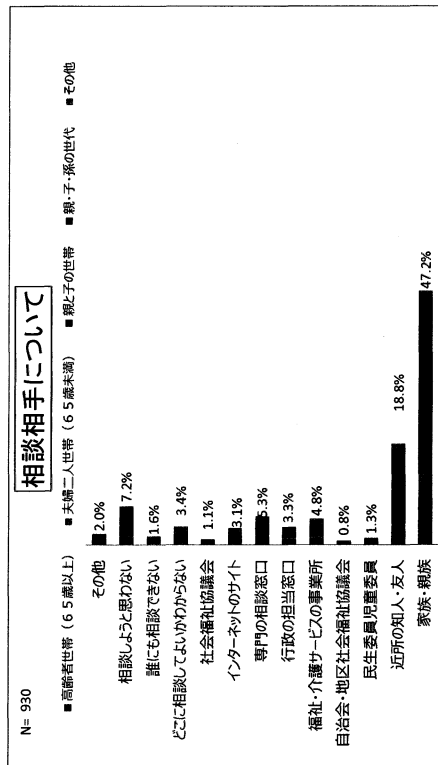
「関わっていない」との回答が32.2%と一番多く、次に「自治振興会、町内会役員」が24.1%となった。世代別で見ると、20代の関わりはほとんどなかった。



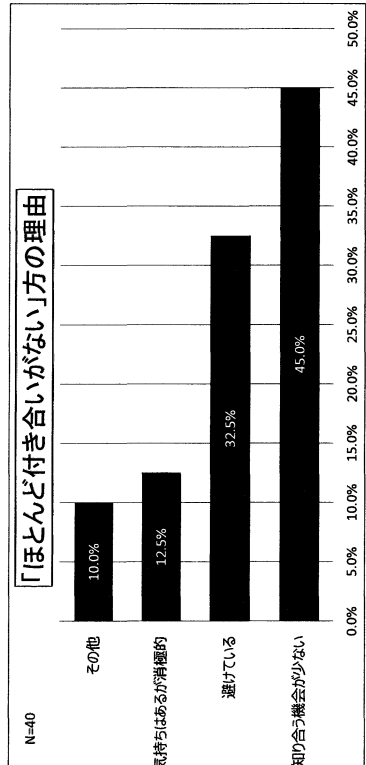
「自分や家族の将来のこと」が20.1%、「健康に関すること」が18.1%となった。世代別にみると、「自分や家族の将来のこと」「介護（介助）に関すること」「健康に関すること」「災害に関すること」については、50代以上の世代の占める割合が多く、「自分や家族の将来のこと」「経済面に関すること」については20代、30代の占める割合が多かった。



「立ち話をする程度」が、39.8%、「あいざつをする程度」は、33.2%、「家を行き来、助け合いができる」が23.0%となった。世代別でみると「立ち話をする程度」「家を行き来、助け合いができる」との回答について、20代、30代の世代の割合が少ない。

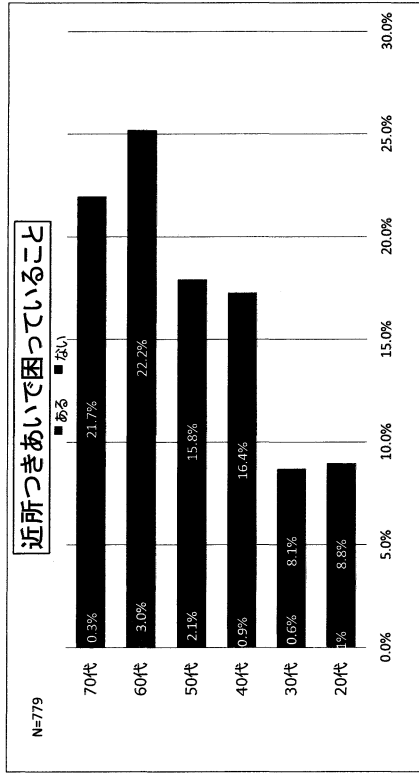


「家族・親族」が一番多く、47.2%、「近所の知人・友人」が18.8%となった。また、世帯構成別にみると、「高齢者世帯(65歳以上)」の世帯は、「家族」「近所の知人・友人」以外に「専門の相談窓口」「行政の担当窓口」「福祉・介護サービスの事業所」を利用しているという結果となった。



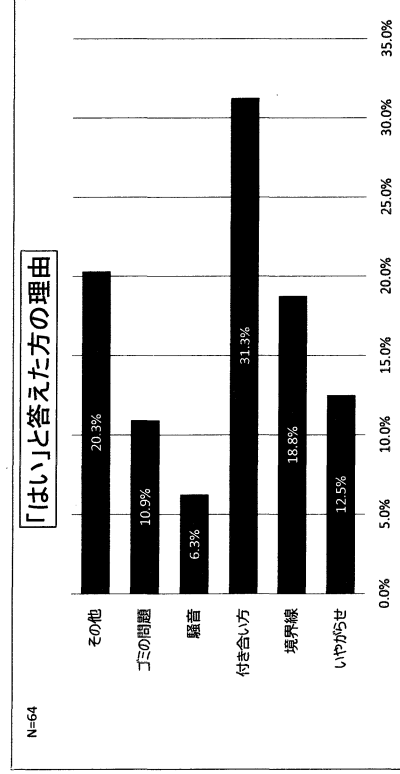
「知り合う機会が少ない」が一番多く、45.0%となった。また「避けている」が32.5%という結果となった。

問10



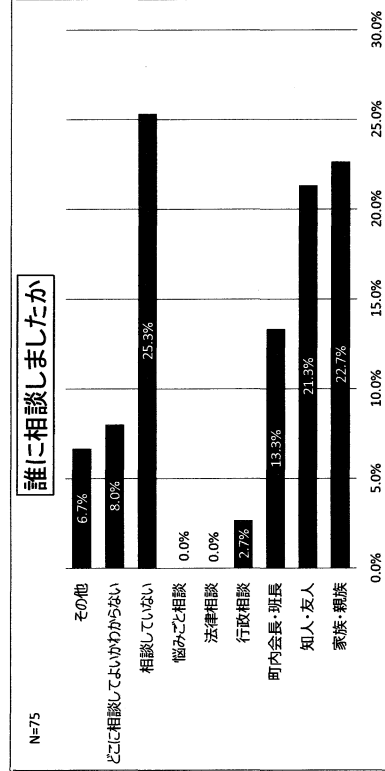
「ない」の回答が、どの世代でも多く占めている。

問10-1



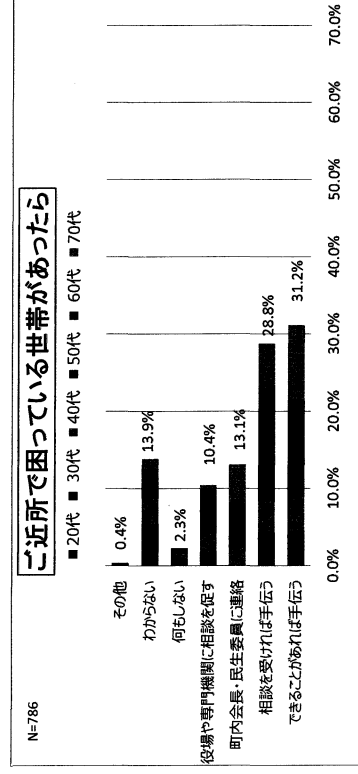
「付き合い方」が、31.3%、「境界線」が18.8%となっている。

40 問10-2



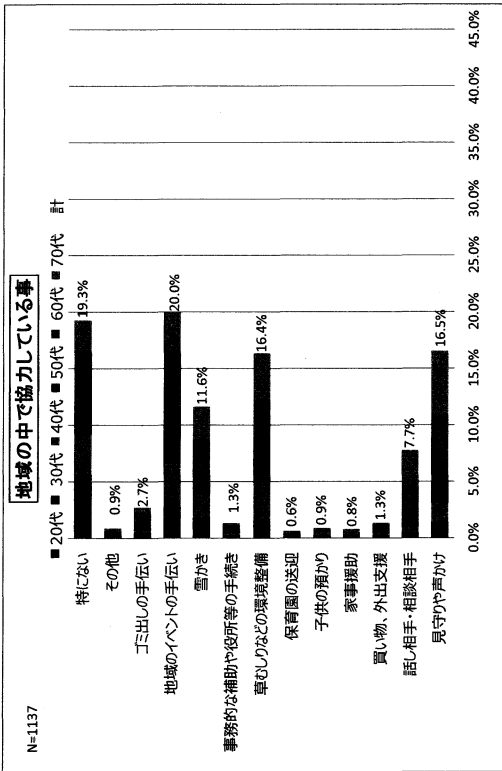
相談相手として、「家族・親族」が22.7%、次いで、「知人・友人」が21.3%となった。また、「相談していない」が最も多く相談相手として、「家族・親族」が22.7%、「知人・友人」が21.3%となった。また、「相談していない」が25.3%という結果となった。

問11



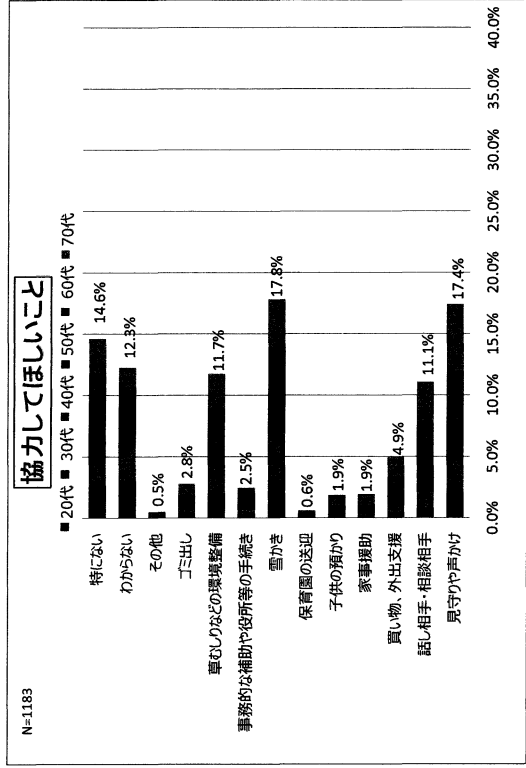
「できない」が最も多く、31.2%、次いで「相談を受ければ手伝う」が28.8%となった。世代別にみれば、40代以上については、「相談を受ければ手伝う」などの積極的な傾向がみられる。

問12



「地域のイベントの手伝い」が最も多く、20.0%、次いで「特になし」が19.3%となった。世代別にみると、その他の「草むしりなどの環境整備」、「見守りや声かけ」、「雪かき」について、50代以上の世代についてはよく協力している傾向がみられる。

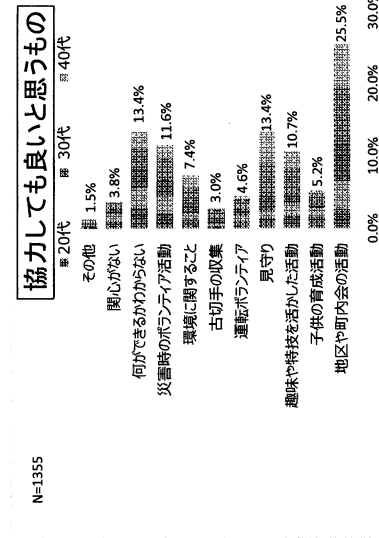
問13



協力してほしいこととして、最も多い回答は「雪かき」で17.8%、次いで「見守りや声かけ」で17.4%となった。また、世代別にみると、20代については、「保育園の送迎」、「子供の預かり」についての意見があった。

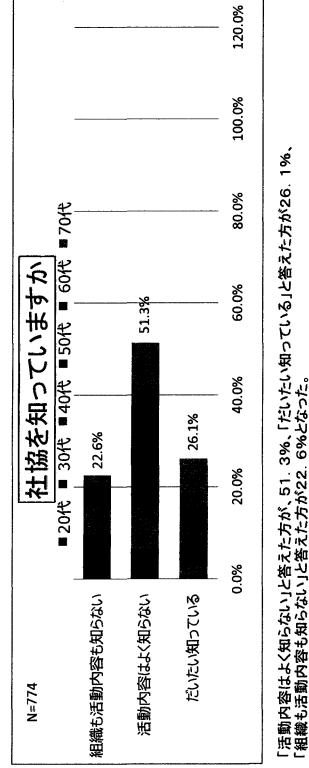
った。

問14



「地区や町内会の活動」について、最も多く25.5%、ついで「見守り」、「何ができるかわからない」が13.4%となった。世代別にみると、世代関係なく、協力の意向があるとみられる。

問15

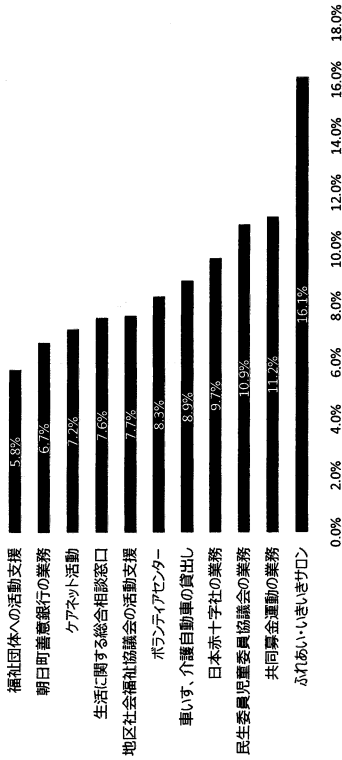


「活動内容はよく知らない」と答えた方が51.3%、「だいたい知っている」と答えた方が26.1%、「組織も活動内容も知らない」と答えた方が22.6%となった。

問16

N=3086

あなたが知っている社会福祉協議会の活動-事業

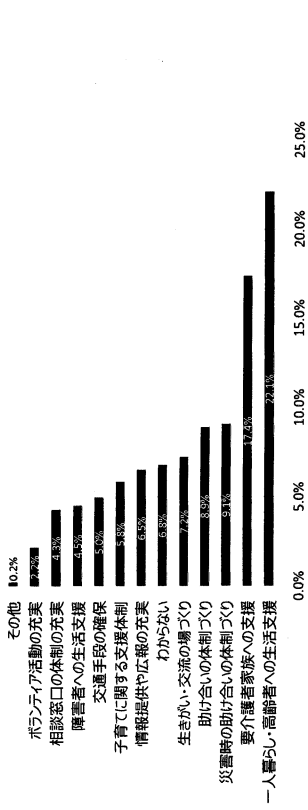


「ふれあいいきいきサロン」が最も多く、16.1%、ついで「共同募金運動の業務」が11.2%、「民生委員児童委員協議会の業務」が10.9%、「日本赤十字社の業務」が9.7%という結果となった。

問17

N=1796

とくに充実してほしい活動や支援は

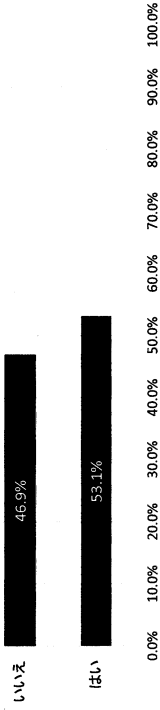


「一人暮らし・高齢者への生活支援」が最も多く27.8%、ついで「要介護者家族への支援」が17.6%、「災害時の助け合いの体制づくり」が9.1%となった。

問17

N=763

地区社会福祉協議会を知っていますか

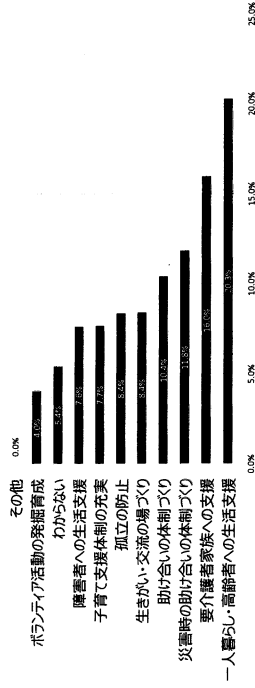


「はい」と答えた方が53.1%で、「いいえ」と答えた方が46.9%となった。

問19

N=2179

地区社会福祉協議会に必要と思う活動



「一人暮らし・高齢者への生活支援」が最も多く、23.3%、ついで「要介護者家族への支援」が16.0%、「災害時の助け合いの体制づくり」が11.8%となった。

問20

ケアネット活動を知っていますか

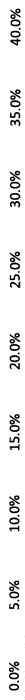
N=762

いいえ

16.2%

はい

34.2%



「はい」と答えた方が34.2%で、「いいえ」と答えた方が16.2%となった。

問21

町内の担当民生委員児童委員を知っていますか

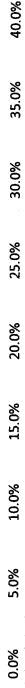
N=762

いいえ

33.9%

はい

15.8%



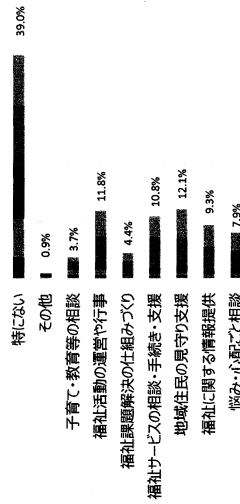
「はい」と答えた方が15.8%で、「いいえ」と答えた方が33.9%となった。

43 問21-1

民生委員児童委員と関わったことのある事柄

N=794

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

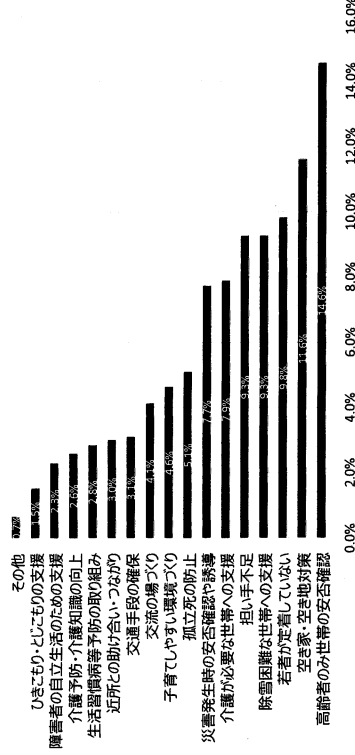


「特にない」が最も多く39.0%、ついで「地域住民の見守り支援」が12.1%、「福祉活動の運営や行事」が11.8%、「福祉サービス相談・手続き・支援」が10.8%となった。

問22

あなたの地域で優先的に解決すべき課題

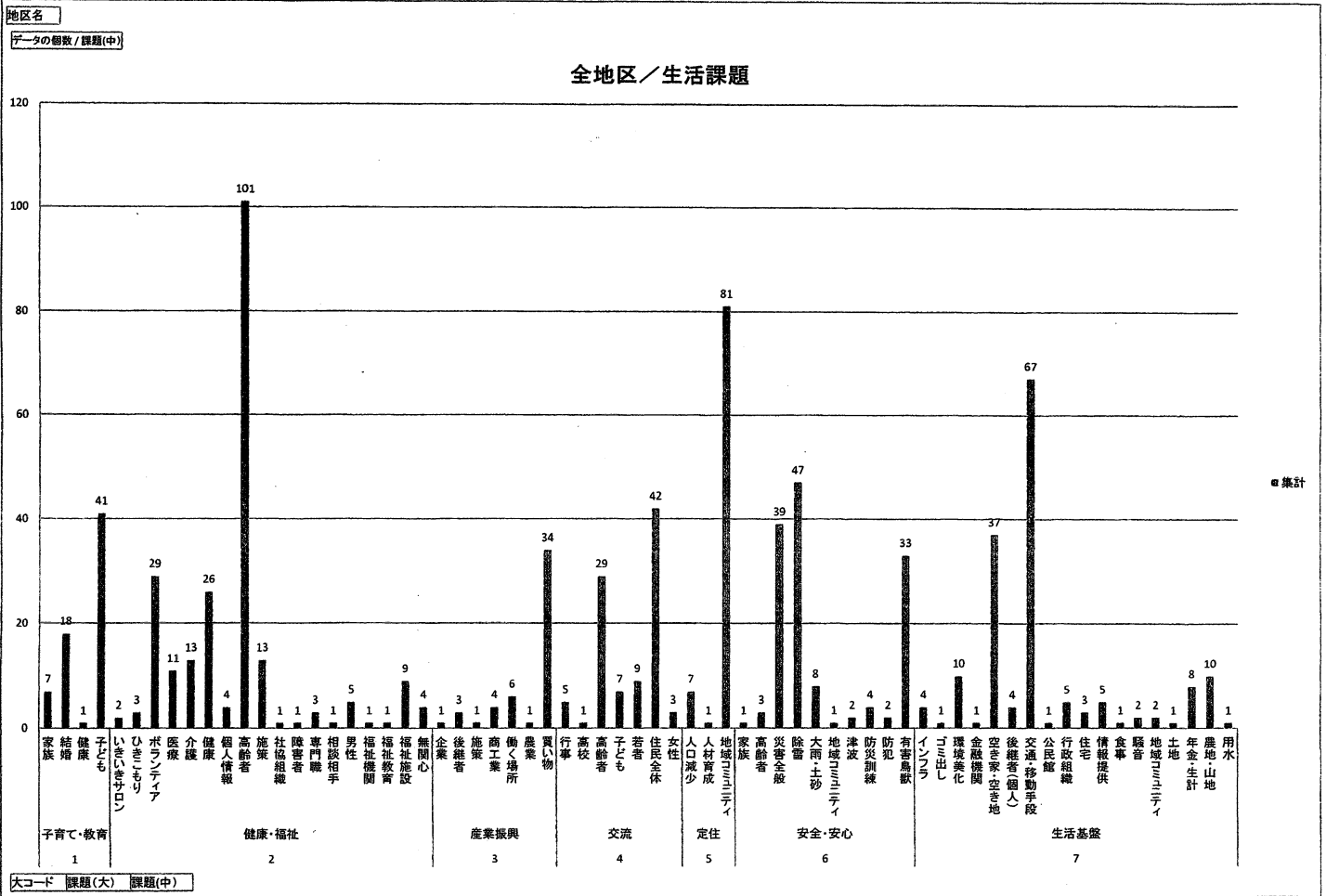
N=1965



優先すべき課題として「高齢者のみ世帯の安全確認」が最も多く14.6%、ついで「空き家・空き地対策」が11.6%、「若者が定着していない」が9.8%、また「除雪困難な世帯への支援」「担い手不足」が各9.3%となった。

参考資料 2

地域福祉懇談会 生活課題分析集計表

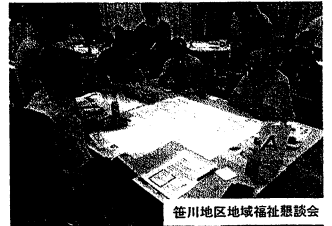
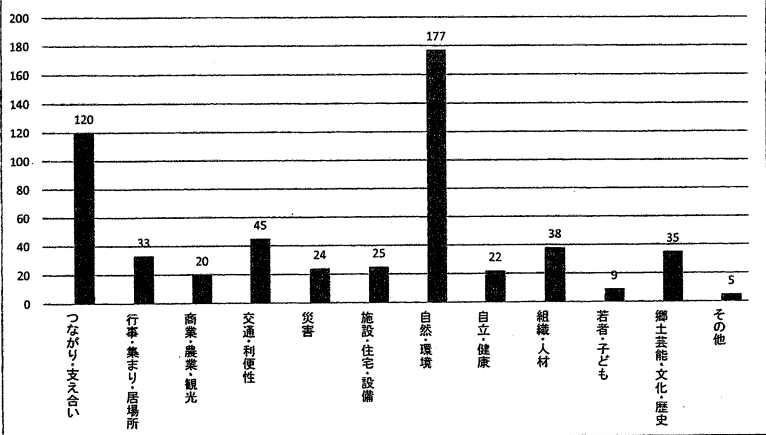


地域福祉懇談会生活課題 集計結果

生活課題については、全体で総数833件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、228件で全体の27.4%となった。次いで生活基盤に関するものが163件で19.6%、3番目に多かったのは、安全・安心に関するもので140件で16.8%となった。

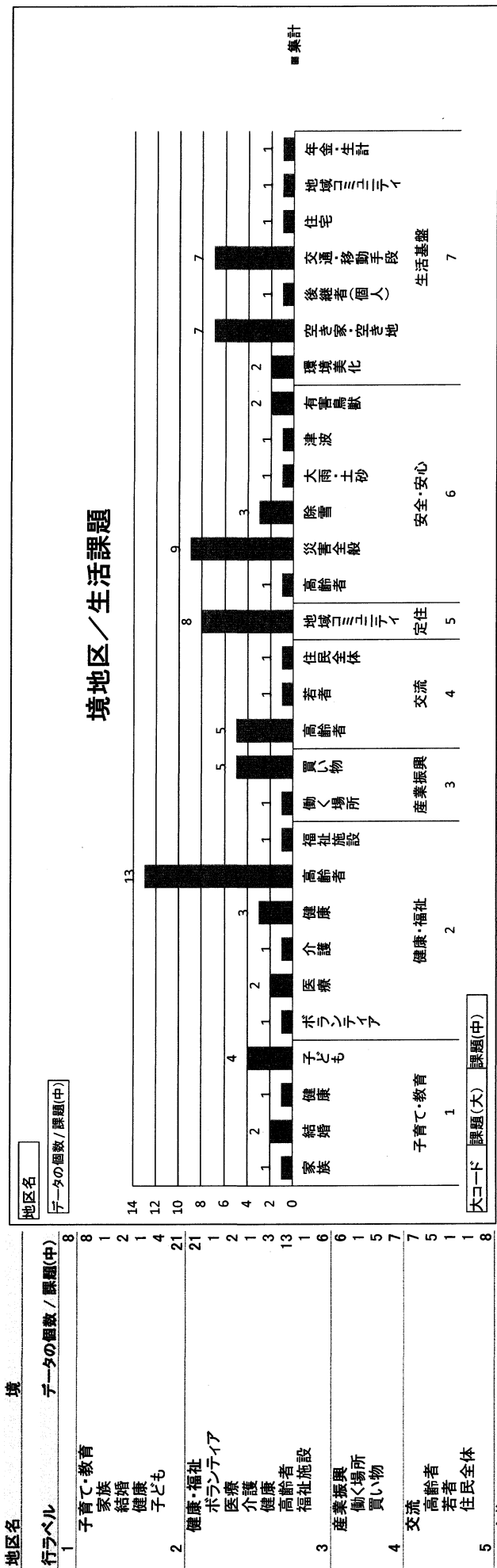
- 子育て・教育については、子どもに関する意見が一番多く、41件で「子育て・教育」に関する全体の61.2%。次いで結婚に関するものが18件で26.9%となった。
- 健康・福祉については、高齢者に関する意見が一番多く、101件で「健康・福祉」に関する全体の44.5%。次いでボランティアに関するものが29件で12.8%となった。
- 産業振興については、買い物に関する意見が一番多く、34件で「産業振興」に関する全体の68%。次いで働く場所に関するものが6件で12%となった。
- 交流については、住民全体の集まりや交流に関する意見が一番多く、42件で「交流」に関する全体の43.3%となった。次いで高齢者に関するものが29件で29.9%となった。
- 定住については、役員の担い手等の地域コミュニティに関する意見が一番多く、81件で「定住」に関する全体の57.9%。次いで、人口減少に関するものが7件で7.9%となった。
- 安全・安心については、除害に関する意見が一番多く、47件で「災害」に関する全体の33.6%。次いで、災害全般に関するものが39件で27.9%となった。3番目に多かった意見は有害鳥獣に関するもので、33件で23.6%となった。
- 生活基盤については、交通・移動手段に関する意見が一番多く、67件で「生活基盤」に関する全体の41.1%となった。次いで、空き家・空き地に関するものが37件で22.7%となった。

全地区「我が地区の良い所・強み」



我が地区の良い所・強みについては、全体で総数553件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、177件で全体の32%となった。次いで、つながり・支え合いに関するものが120件で21.7%となった。3番目に多かった意見は、交通・利便性に関するものが45件で、8.1%となった。

地区名	(すべて)
行ラベル	データの総数 / 課題(中)
1	子育て・教育
7	家族
18	結婚
1	健康
41	子ども
2	健康・福祉
228	いきいきサロン
2	いきいきもり
29	ボランティア
11	医療
13	介護
26	健康
4	個人情報
101	高齢者
13	施設
1	社会組織
1	障害者
3	専門職
1	相談相手
1	男性
1	福祉関係
9	福祉施設
4	無関心
3	企業
1	後継者
1	農業
4	商業
6	商工業
1	働く場所
34	買い物
4	産業振興
50	交流
1	行事
5	高齢者
29	子ども
7	若者
9	住民全体
42	女性
3	定住
89	人口減少
89	人材育成
1	地域コミュニティ
81	安全・安心
140	家族
3	高齢者
39	災害全般
47	除害
8	大雨・土砂
1	地域コミュニティ
2	津波
4	防災訓練
2	防犯
33	有害鳥獣
163	生活基盤
10	ゴミ出し
1	環境美化
10	金融機関
37	空き家・空き地
4	後継者(個人)
67	交通・移動手段
5	公民館
5	行政組織
3	住宅
5	情報提供
3	食料
2	地域コミュニティ
2	土地
8	年金・生計
10	農地・山地
1	用水
833	総計

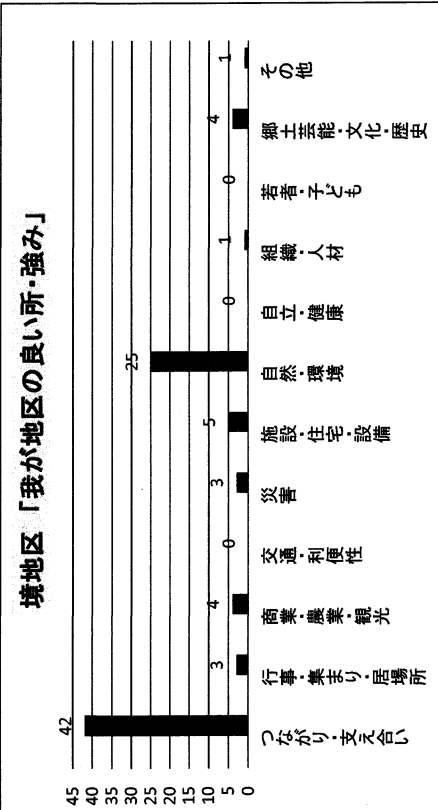


生活課題については、境地区全体で87件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、21件で全体の24.1%となった。次いで生活基盤に関するものが20件で23%、3番目に多かったのは、安全・安心に関するものが17件で19.5%となった。

1. 子育て・教育については、総数8件のうち子どもに関するものが4件で一番多く、次いで結婚が2件となった。
2. 健康・福祉については、総数21件のうち高齢者に関するものが13件で一番多く、次いで健康が3件、医療が2件となった。
3. 産業振興については、総数6件のうち買い物に関するものが5件で一番多く、次いで働く場所が1件となった。
4. 交流については、総数7件のうち高齢者に関するものが5件で一番多く、次いで若者、住民全体が各1件となった。
5. 定住については、総数8件のうち全て地域コミュニティに関するものとなった。
6. 安全・安心については、総数17件のうち災害全般に関するものが9件で一番多く、次いで除雪が3件、有害鳥獣が2件となった。
7. 生活基盤については、総数20件のうち空き家・空き地、交通・移動手段に関するものが各7件で一番多く、次いで環境美化が2件となった。



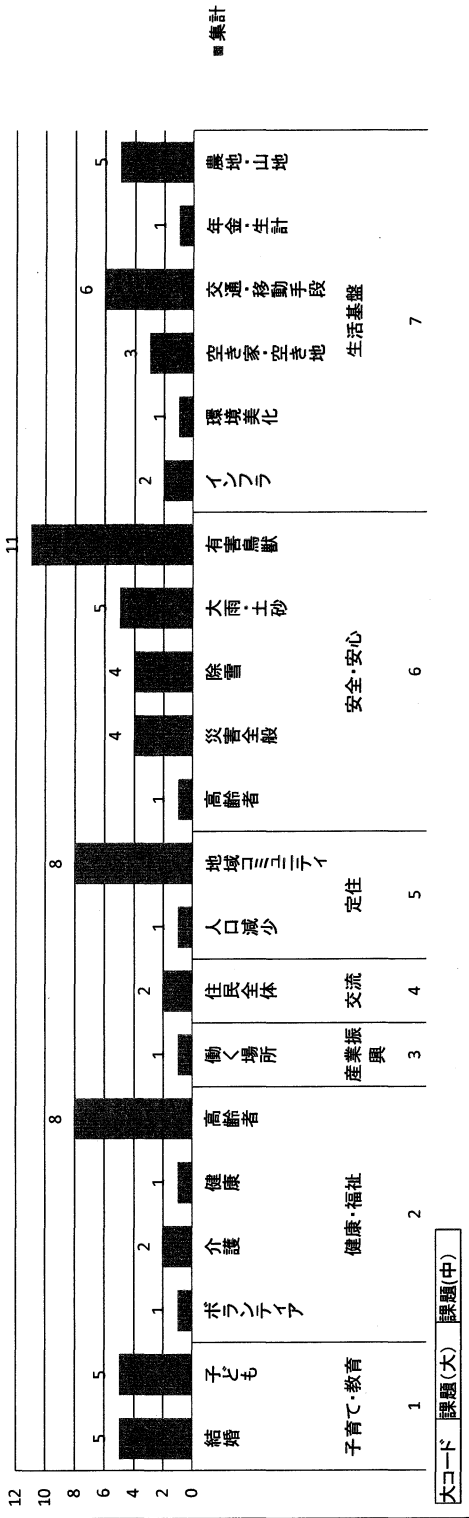
境地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数88件の意見をいただき、そのうち、つながり・支え合いに関する意見が一番多く、42件で全体の47.7%となった。次いで自然・環境に関するものが25件で28.4%となった。3番目に多かった意見は、施設・住宅・設備に関するものが5件で、5.7%となった。



地区名 笹川

行ラベル	テーマの個数 / 課題(中)
1	子育て・教育
2	健康・福祉
3	産業振興
4	交流
5	定住
6	安全・安心
7	生活基盤
8	農地・山地
9	年金・生計
10	交通・移動手段
11	空き家・空き地
12	環境美化
13	インフラ
14	有害鳥獣
15	大雨・土砂
16	除雪
17	災害全般
18	高齢者
19	地域コミュニティ
20	人口減少
21	住民全体
22	働く場所
23	高齢者
24	健康
25	介護
26	ボランティア
27	子ども
28	結婚
29	子育て・教育
30	健康・福祉
31	産業振興
32	交流
33	定住
34	安全・安心
35	生活基盤
36	環境美化
37	インフラ
38	有害鳥獣
39	大雨・土砂
40	除雪
41	災害全般
42	高齢者
43	地域コミュニティ
44	人口減少
45	住民全体
46	働く場所
47	高齢者
48	健康
49	介護
50	ボランティア
51	子ども
52	結婚
53	子育て・教育
54	健康・福祉
55	産業振興
56	交流
57	定住
58	安全・安心
59	生活基盤
60	環境美化
61	インフラ
62	有害鳥獣
63	大雨・土砂
64	除雪
65	災害全般
66	高齢者
67	地域コミュニティ
68	人口減少
69	住民全体
70	働く場所
71	高齢者
72	健康
73	介護
74	ボランティア
75	子ども
76	結婚
77	子育て・教育

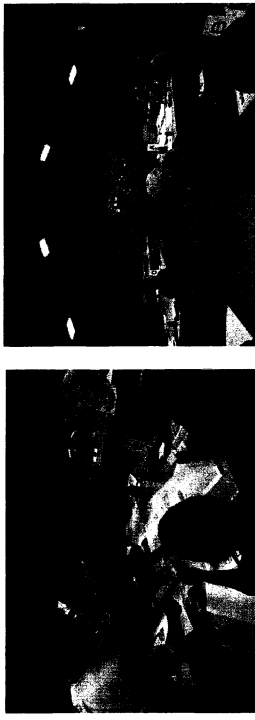
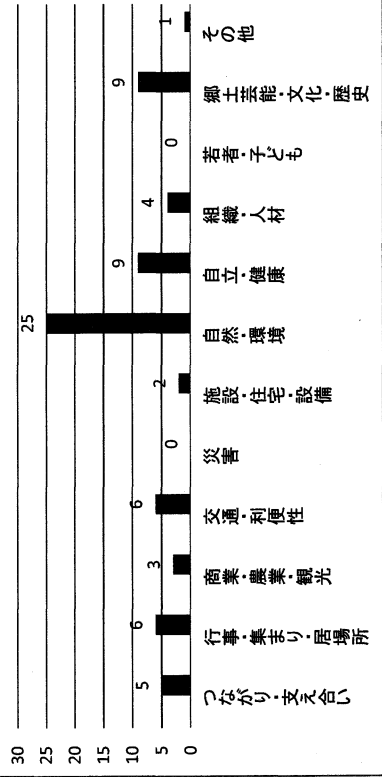
笹川地区 / 生活課題



生活課題については、笹川地区全体で77件の意見をいただき、そのうち、安全・安心に関する意見が一番多く、25件で全体の32.5%となった。次いで生活基盤に関するものが18件で23.4%、3番目に多かったのは、健康・福祉に関するものが12件で15.6%となった。

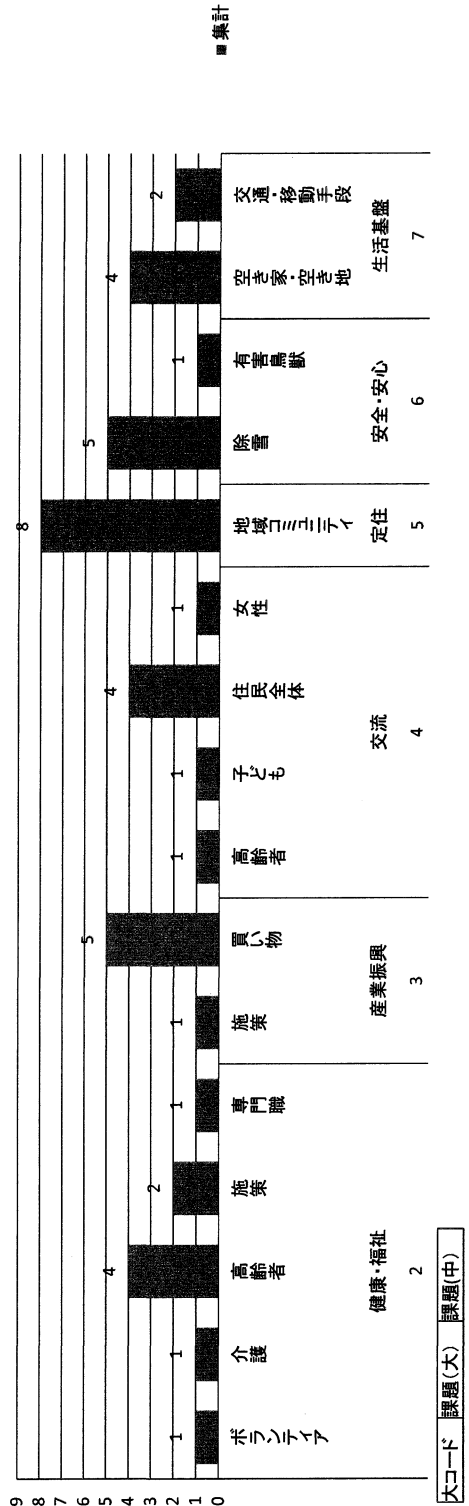
1. 子育て・教育については、総数10件のうち結婚、子どもに関するものが各5件となった。
2. 健康・福祉については、総数12件のうち高齢者に関するものが8件で一番多く、次いで介護が2件となった。
3. 産業振興については、総数1件のうち働く場所に関するものが1件となった。
4. 交流については、総数2件のうち住民全体に関するものが2件となった。
5. 定住については、総数9件のうち地域コミュニティに関するものが8件で一番多く、人口減少が1件となった。
6. 安全・安心については、総数25件のうち有害鳥獣に関するものが11件で一番多く、次いで大雨・土砂が5件となった。
7. 生活基盤については、総数18件のうち交通・移動手段に関するものが6件で一番多く、次いで農地・山地が5件となった。

笹川地区「我が地区の良い所・強み」



笹川地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数70件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、25件で全体の35.7%となった。次いで自立・健康・文化・歴史に関するものがそれぞれ9件で31.2.9%となった。以降、行事・集まり・居場所、交通・利便性が6件と続く結果

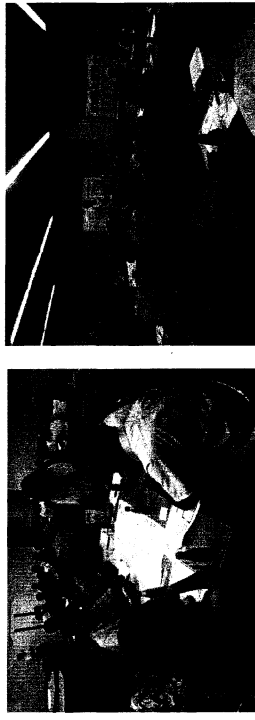
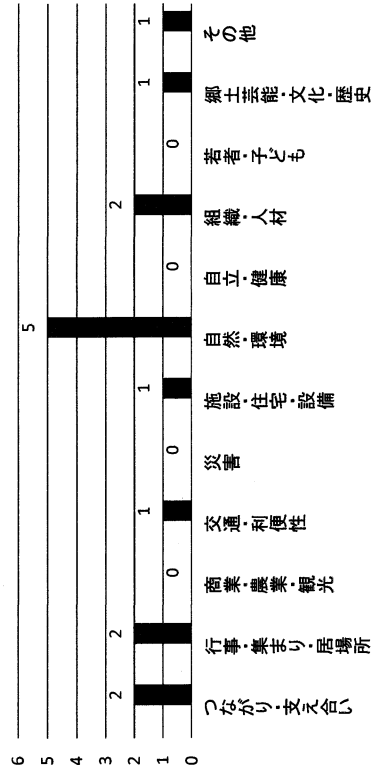
泊一区 / 生活課題



生活課題については、泊一区全体で42件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、9件で全体の21.4%となった。次いで、定住に関するものが8件で19%、3番目に多かったのは、交流に関するものが7件で16.7%となった。

1. 子育て・教育については、ご意見が挙がりませんでした。
2. 健康・福祉については、総数9件のうち高齢者に関するものが4件で一番多く、次いで施策が2件となった。
3. 産業振興については、総数6件のうち買い物に関するものが5件で一番多く、次いで施策が1件となった。
4. 交流については、総数7件のうち住民全体に関するものが4件で一番多く、次いで高齢者、子ども、女性が各1件となった。
5. 定住については、総数8件のうち全て地域コミュニティに関するものとなった。
6. 安全・安心については、総数6件のうち除雪に関するものが5件で一番多く、次いで有害鳥獣が1件となった。
7. 生活基盤については、総数6件のうち空き家・空き地に関するものが4件で一番多く、次いで交通・移動手段が2件となった。

泊一区「我が地区の良い所・強み」



泊一区の「我が地区の良い所・強み」については、数15件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、5件で全体の33.3%となった。次いでつながり・支え合い、行事・集まり、居場所、組織・人材に関するものがそれぞれ2件で13.3%となった。

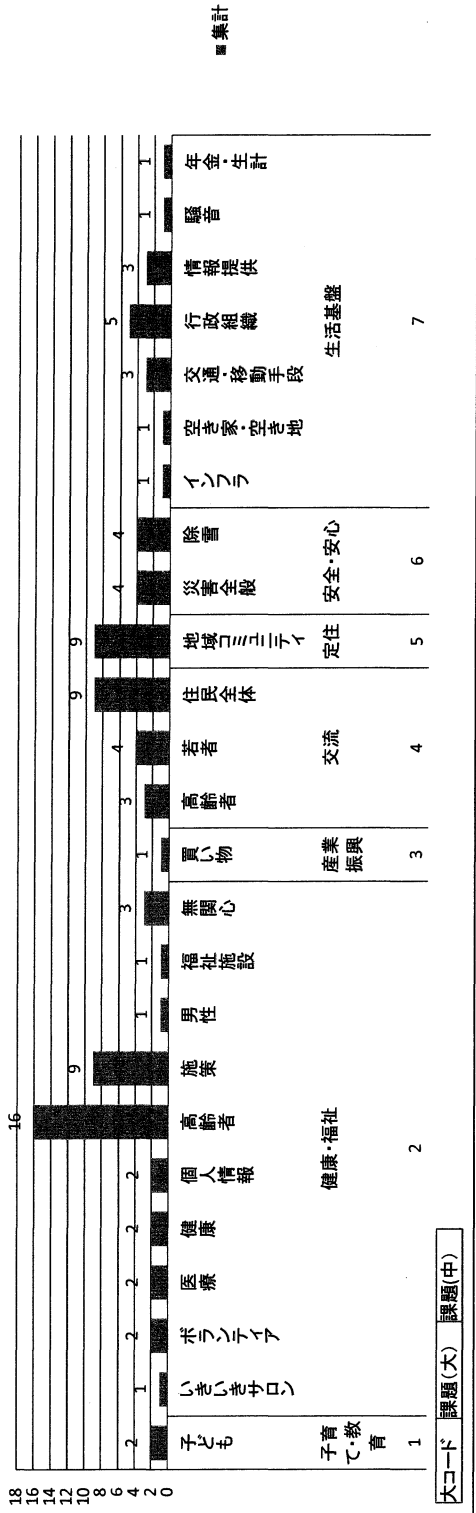
行ラベル	データの個数 / 課題(中)
2	健康・福祉
9	ボランティア
1	介護
1	高齢者
4	施策
2	専門職
1	施策
6	買い物
3	産業振興
6	高齢者
1	健康・福祉
5	交流
7	子ども
4	住民全体
1	女性
8	地域コミュニティ
8	定住
6	安全・安心
6	除雪
5	有害鳥獣
1	生活基盤
6	空き家・空き地
4	交通・移動手段
2	集計
42	

地区名 泊二区

行ラベル データの個数 / 課題(中)

1	子育て・教育 子ども	2
2	健康・福祉 いきいきサロン ボランティア	39
3	医療 健康 個人情報 高齢者 施策 男性 福祉施設 無関心	16
4	産業振興 買い物	1
5	交流 高齢者 若者 住民全体	16
6	定住 地域コミュニティ	9
7	安全・安心 災害全般 除雪	8
8	生活基盤 インフラ 空き家・空き地 交通・移動手段 行政組織 情報提供 騒音 年金・生計	15
9	総計	90

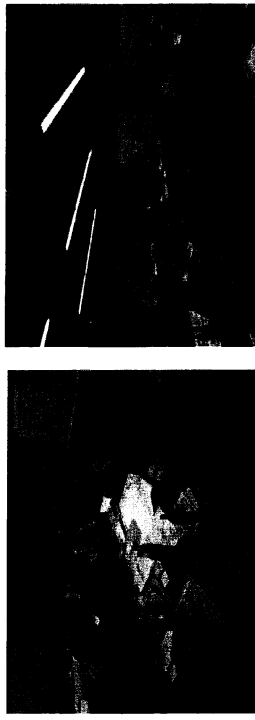
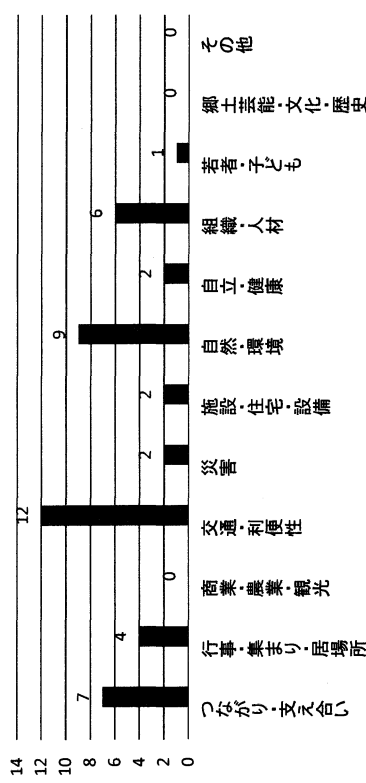
泊二区 / 生活課題



生活課題については、泊二区全体で90件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、39件で全体の43.3%となった。次いで、交流に関するものが16件で17.8%、3番目に多かったのは、生活基盤に関するものが15件で16.7%となった。

1. 子育て・教育については、総数2件のうち全て子どもに関するものとなった
2. 健康・福祉については、総数39件のうち高齢者に関するものが16件で一番多く、次いで施策が2件となった。
3. 産業振興については、総数1件で 買い物に関するものとなった。
4. 交流については、総数16件のうち住民全体に関するものが4件、高齢者が3件となった。
5. 定住については、総数9件のうち全て地域コミュニティに関するものとなった。
6. 安全・安心については、総数8件のうち災害全般、除雪に関するものが各4件となった。
7. 生活基盤については、総数15件のうち行政組織に関するものが5件で一番多く、次いで交通・移動手段、情報提供が各3件となった。

泊二区 「我が地区の良い所・強み」

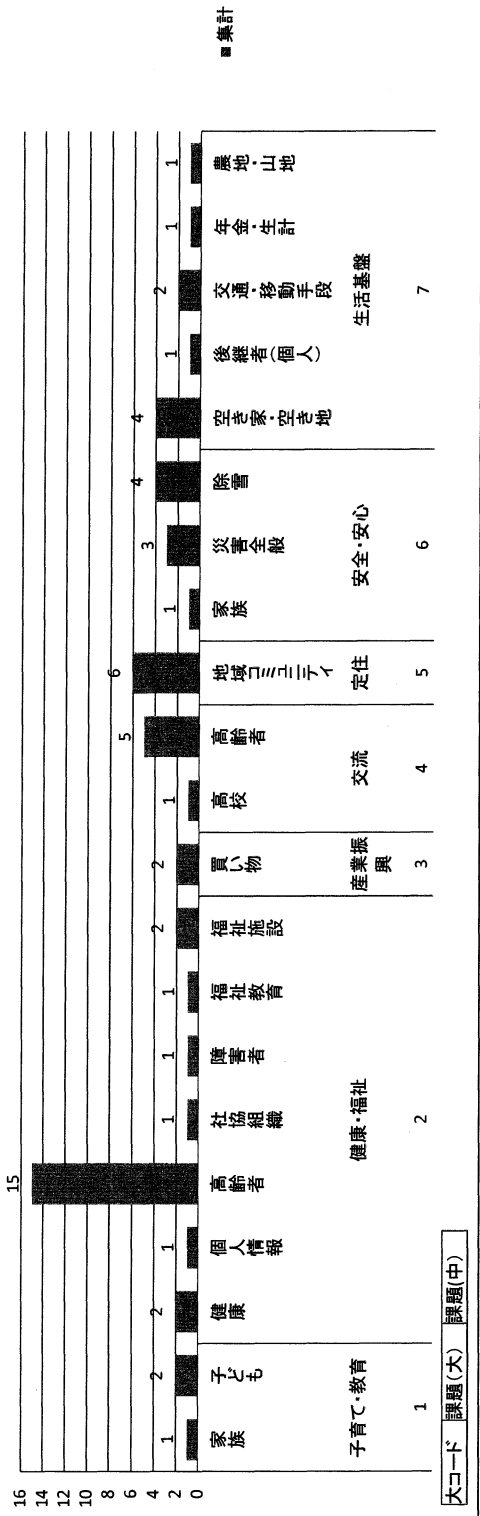


泊二区の「我が地区の良い所・強み」については、総数45件の意見をいただき、そのうち、交通・利便性に関する意見が一番多く、12件で全体の26.7%となった。次いで自然・環境が9件で20%、3番目に多かったのがつながり・支え合いで7件あり、15.6%となった。

行ラベル 子育で・教育 家族 子ども

行ラベル	子育で・教育	家族	子ども
1	3	1	2
2	23	23	2
	2	1	15
	1	1	1
	1	1	2
	2	2	2
	2	2	2
	2	2	6
	6	6	1
	5	5	6
	6	6	6
	6	6	8
	8	8	1
	1	1	3
	3	3	4
	4	4	9
	9	9	4
	4	4	1
	1	1	2
	2	2	1
	1	1	1
	1	1	57

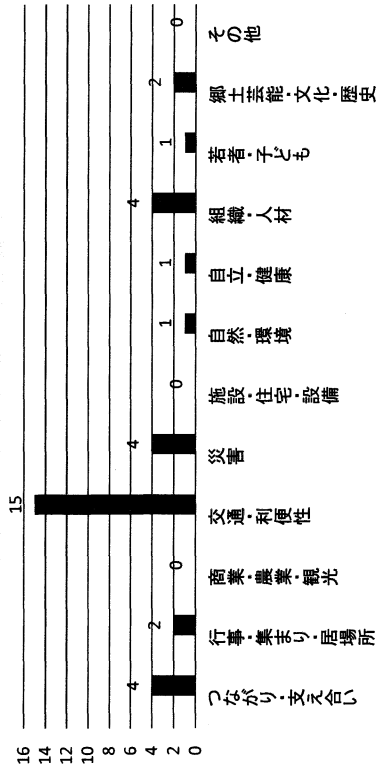
泊三区 / 生活課題



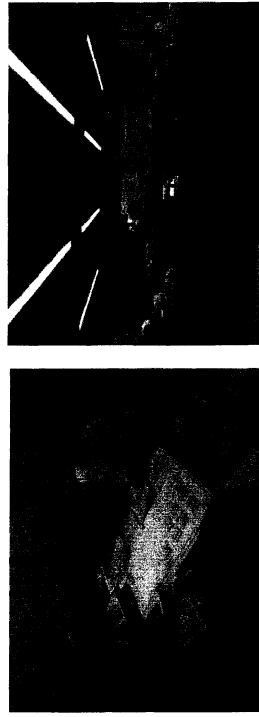
生活課題については、泊三区全体で57件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、23件で全体の40.4%となった。次いで生活基盤に関するものが9件で15.8%、3番目に多かったのは、安全・安心に関するものが8件で14%となった。

1. 子育て・教育については、総数3件のうち子どもに関するものが2件、家族に関するものが1件となった。
2. 健康・福祉については、総数23件のうち高齢者に関するものが15件で一番多く、次いで健康・福祉施設が各2件となった。
3. 産業振興については、総数2件で 買い物に関するものとなった。
4. 交流については、総数6件のうち高齢者に関するものが5件で一番多く、次いで高校が1件となった。
5. 定住については、総数6件のうち全て地域コミュニティに関するものとなった。
6. 安全・安心については、総数8件のうち除雪に関するものが4件で一番多く、次いで災害全般が3件となった。
7. 生活基盤については、総数9件のうち空き家・空き地に関するものが4件で一番多く、次いで交通・移動手段が2件となった。

泊三区 「我が地区の良い所・強み」

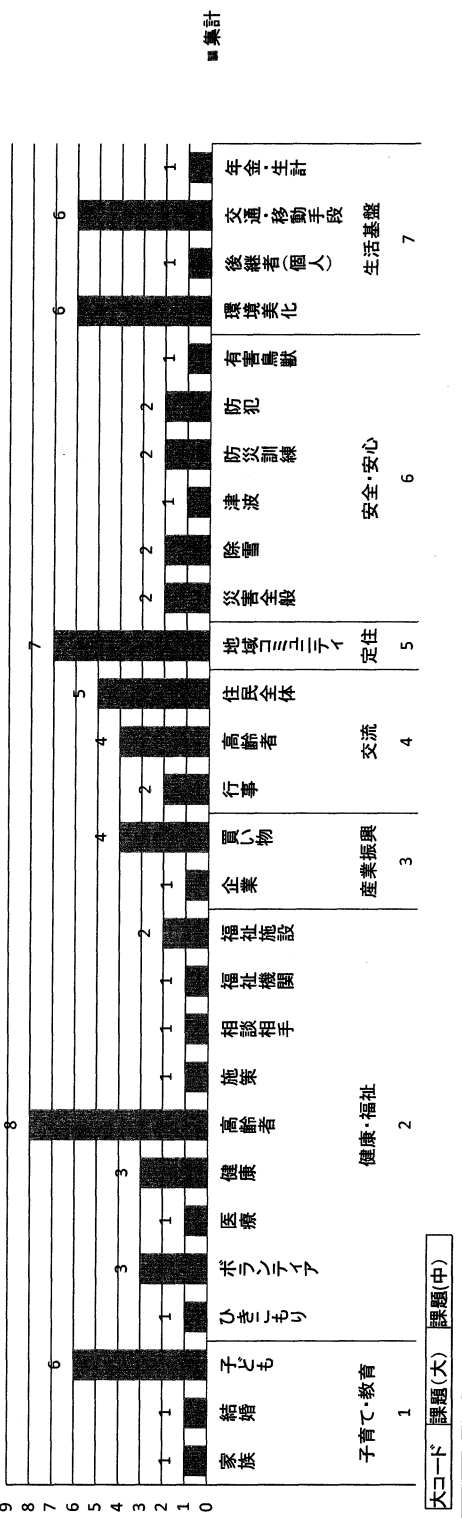


泊三区の「我が地区の良い所・強み」については、総数34件の意見をいただき、そのうち、交通・利便性に関する意見が一番多く、15件で全体の44.1%となった。次いで、つながり・支え合い、災害、組織・人材がそれぞれ4件で11.8%となった。



地区名	五箇庄
行ラベル	データの個数 / 課題(中)
1	子育て・教育 8 家族 8 結婚 1 子ども 1 21 21
2	健康・福祉 21 ひきこもり 1 ボランティア 3 医療 1 高齢者 3 施策 8 相談相手 1 福祉機関 1 福祉施設 1 5
3	産業振興 5 企業 1 買い物 4 11
4	交流 11 行事 2 高齢者 4 住民全体 5
5	定住 7 地域コミュニティ 7
6	安全・安心 10 災害全般 10 除雪 2 津波 2 防災訓練 2 防犯 1 有害鳥獣 1 14
7	生活基盤 14 環境美化 6 後継者(個人) 1 交通・移動手段 6 年金・生計 1 76

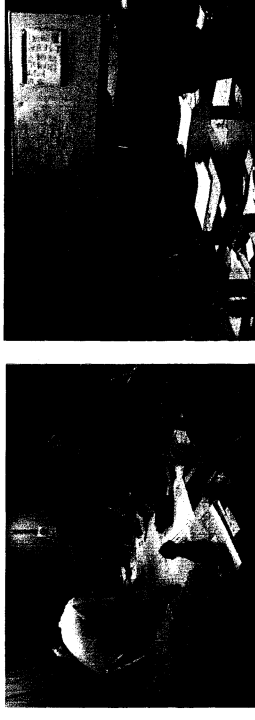
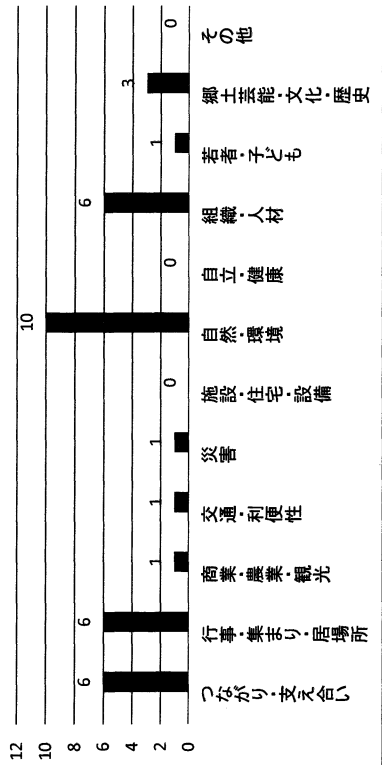
五箇庄地区 / 生活課題



生活課題については、五箇庄地区全体で76件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、21件で全体の27.6%となった。次いで生活基盤に関するところが14件で18.4%、3番目に多かったのは、交流に関するところが11件で14.5%となった。

1. 子育て・教育については、総数8件のうち子どもに関するものが6件で一番多く、家族、結婚が各1件となった。
2. 健康・福祉については、総数21件のうち高齢者に関するものが8件で一番多く、次いでボランティア、健康が各3件となった。
3. 産業振興については、総数5件で、買い物に関するものが4件で一番多く、次いで企業が1件となった。
4. 交流については、総数11件のうち住民全体に関するものが5件で一番多く、次いで高齢者が4件となった。
5. 定住については、総数7件のうち全て地域コミュニティに関するものとなった。
6. 安全・安心については、総数10件のうち災害全般、除雪、防災訓練、防犯に関するものが各2件、次いで津波が1件となった。
7. 生活基盤については、総数14件のうち環境美化、交通・移動手段が各6件で一番多く、次いで後継者(個人)、年金・生計が各1件となった。

五箇庄地区 「我が地区の良い所・強み」



五箇庄地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数35件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、10件で全体の28.6%となった。次いで、つながり・支え合い、行事・集まり・居場所、組織・人材がそれぞれ6件で17.1%となった。

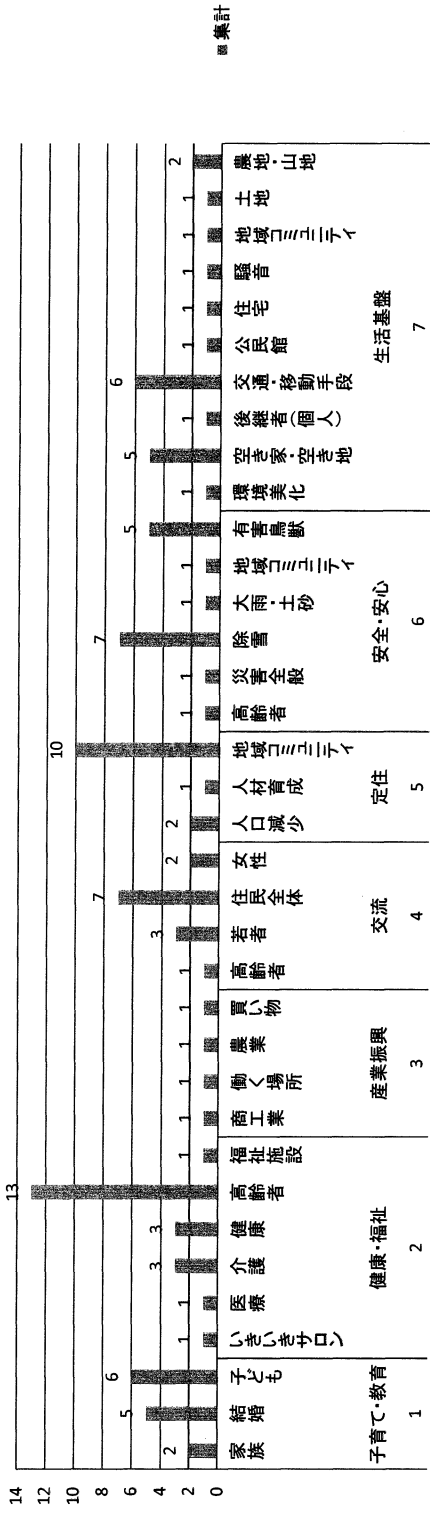
南保地区 南保

行ラベル	データの個数 / 課題(中)
------	----------------

1	子育て・教育	13
	家族	2
	結婚	5
	子ども	6
2	健康・福祉	22
	いきいきサロン	22
	医療	1
	介護	1
	健康	3
	高齢者	3
	福祉施設	13
3	産業振興	1
	商工業	4
	働く場所	4
	農業	1
	買い物	1
4	交流	13
	高齢者	13
	若者	2
	住民全体	3
	女性	7
5	定住	2
	人口減少	13
	人材育成	2
	地域コミュニティ	1
6	安全・安心	10
	高齢者	16
	災害全般	16
	大雨・土砂	1
	除雪	1
	地域コミュニティ	7
	有害鳥獣	1
7	生活基盤	1
	環境美化	20
	空き家・空き地	5
	後継者(個人)	1
	交通・移動手段	6
	公民館	1
	住宅	1
	騒音	1
	地域コミュニティ	1
	土地	1
	農地・山地	2

総計 101

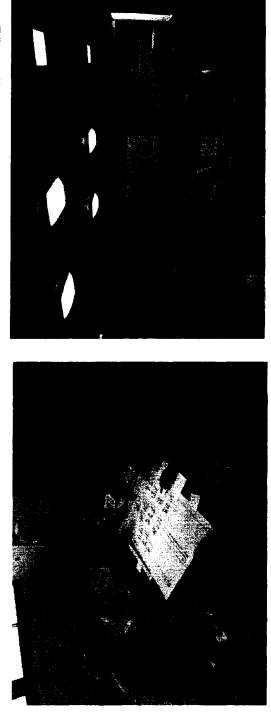
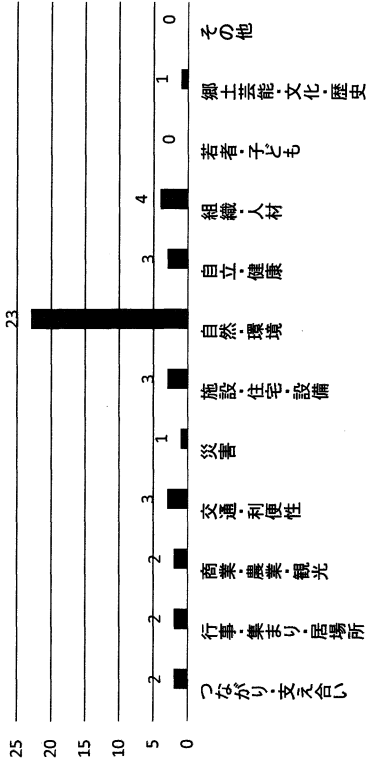
南保地区 / 生活課題



生活課題については、南保地区全体で101件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、22件で全体の21.8%となった。次いで生活基盤に関することが20件で19.8%、3番目に多かったのは、安全・安心に関するものが16件で15.8%となった。

1. 子育て・教育については、総数13件のうち子どもに関するものが6件で一番多く、次いで結婚が5件となった。
2. 健康・福祉については、総数22件のうち高齢者に関するものが13件で一番多く、次いで介護、健康が各3件となった。
3. 産業振興については、総数4件で商工業、働く場所、農業、買い物各1件となった。
4. 交流については、総数13件のうち住民全体に関するものが7件で一番多く、次いで若者が3件となった。
5. 定住については、総数13件のうち地域コミュニティに関するものが10件で一番多く、次いで人口減少が2件となった。
6. 安全・安心については、総数16件のうち除雪に関するものが7件で一番多く、次いで有害鳥獣が5件となった。
7. 生活基盤については、総数20件のうち交通・移動手段に関するものが6件で一番多く、次いで、空き家・空き地が5件となった。

南保地区 「我が地区の良い所・強み」



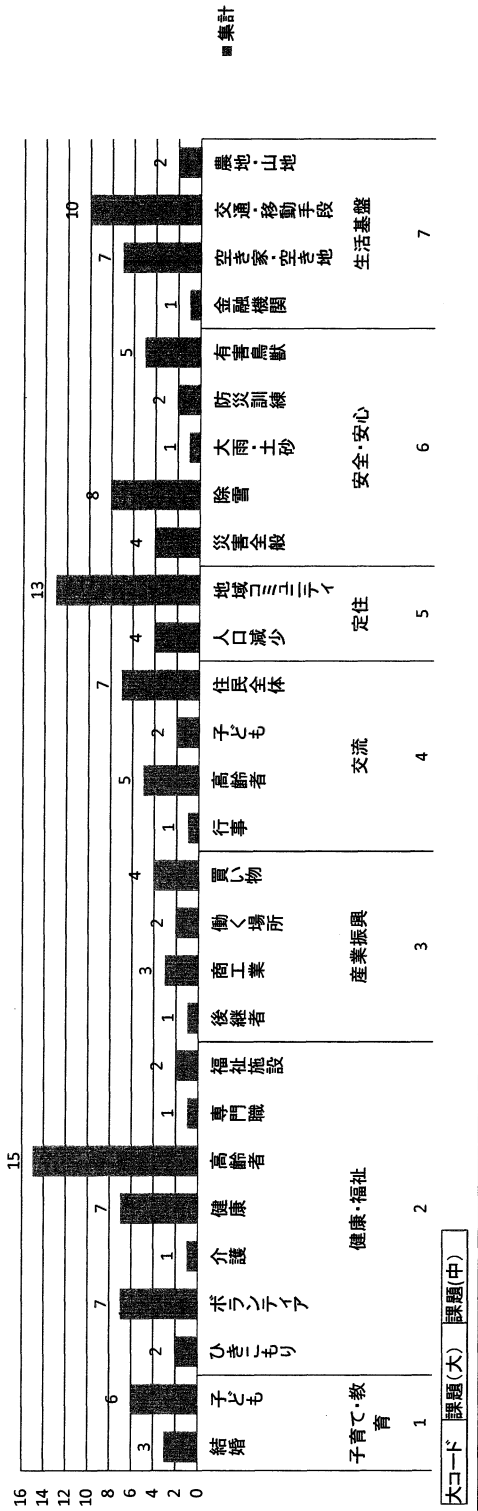
南保地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数44件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、23件で全体の52.3%となった。次いで、組織・人材が4件で9.1%、交通・利便性、自立・健康がそれぞれ3件で6.8%となった。

地区名 山崎

行ラベル テーマの個数 / 課題(中)

1	子育て・教育	9
	結婚	9
	子ども	3
2	健康・福祉	35
	ひきこもり	35
	ボランティア	2
	介護	7
	高齢者	1
	専門職	7
	福祉施設	15
3	産業振興	2
	後継者	10
	商工業	10
	働く場所	1
	買い物	3
4	交流	4
	行事	15
	高齢者	1
	子ども	5
	住民全体	2
5	定住	17
	人口減少	17
	地域コミュニティ	4
6	安全・安心	13
	災害全般	20
	除雪	4
	大雨・土砂	8
	防災訓練	1
	有害鳥獣	1
7	生活基盤	20
	金融機関	1
	空き家・空き地	7
	交通・移動手段	10
	農地・山地	2
総計		126

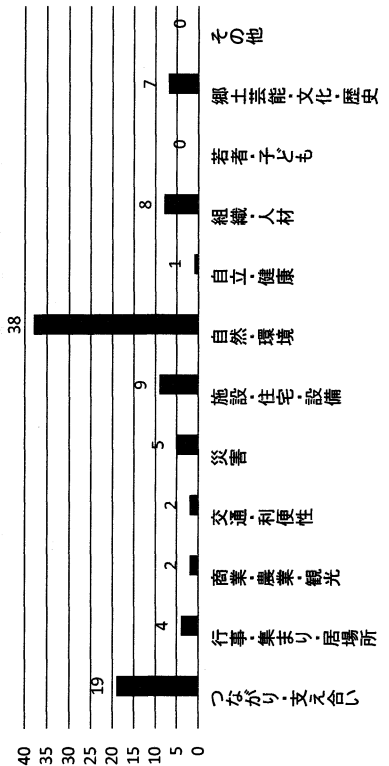
山崎地区 / 生活課題



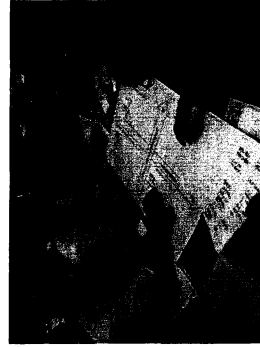
生活課題については、山崎地区全体で126件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、35件で全体の27.8%となった。次いで安全・安心、生活基盤に関するものが各20件で15.9%、次いで定住に関するものが17件で13.5%となった。

1. 子育て・教育については、総数9件のうち子どもに関するものが6件で一番多く、次いで結婚が3件となった。
2. 健康・福祉については、総数35件のうち高齢者に関するものが15件で一番多く、次いでボランティア、健康が各7件となった。
3. 産業振興については、総数10件のうち買い物に関するものが4件で一番多く、次いで商工業が5件となった。
4. 交流については、総数15件のうち住民全体に関するものが7件で一番多く、次いで高齢者が5件となった。
5. 定住については、総数17件のうち地域コミュニティに関するものが13件で一番多く、次いで人口減少が4件となった。
6. 安全・安心については、総数20件のうち除雪に関するものが8件で一番多く、次いで有害鳥獣が5件となった。
7. 生活基盤については、総数20件のうち交通・移動手段に関するものが10件で一番多く、次いで、空き家・空き地が7件となった。

山崎地区「我が地区の良い所・強み」

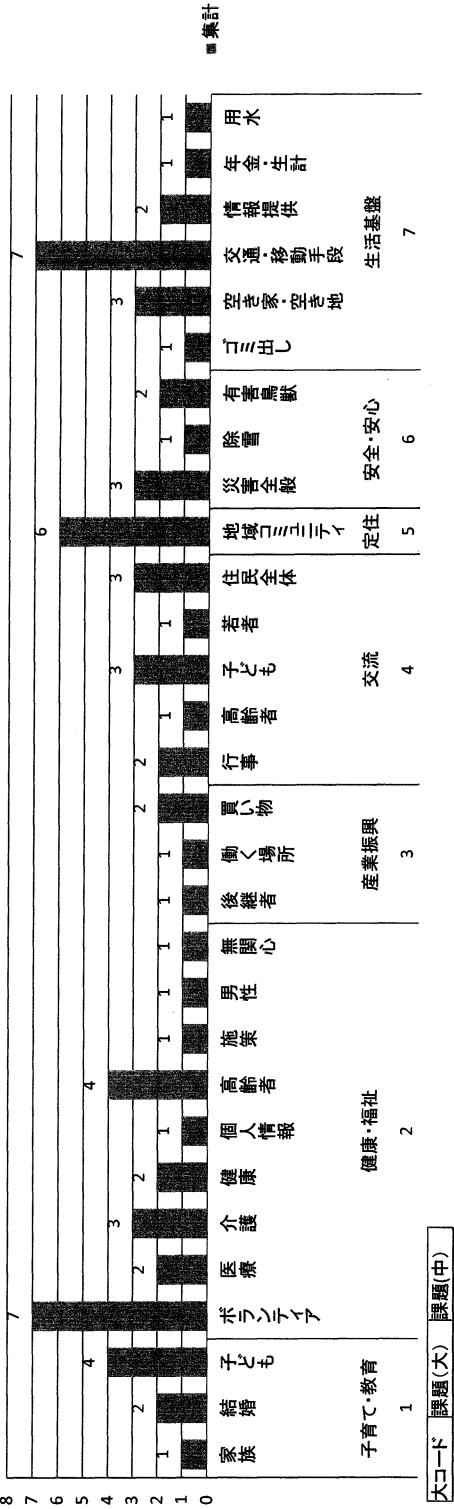


山崎地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数95件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、38件で全体の40%となった。次いで、つながり・支え合いが19件で20%となり、施設・住宅・設備が9件、組織・人材が8件、郷土芸能・文化・歴史が7件となった。



1	子育て・教育	7
	家族	1
	結婚	2
	子ども	4
2	健康・福祉	22
	ボランティア	22
	医療	7
	介護	2
	健康	3
	個人情報	2
	高齢者	1
	施策	1
	男性	1
	無関心	1
3	産業振興	4
	後継者	4
	働く場所	1
	買い物	2
4	交流	10
	行事	10
	高齢者	1
	子ども	3
	若者	1
	住民全体	3
5	定住	6
	地域コミュニティ	6
6	安全・安心	6
	災害全般	6
	除雪	3
	有害鳥獣	2
7	生活基盤	15
	ゴミ出し	15
	空き家・空き地	1
	交通・移動手段	3
	情報提供	7
	年金・生計	1
	用水	1
総計		70

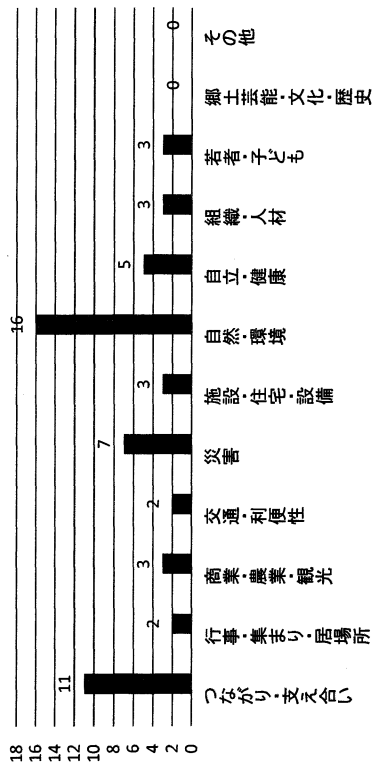
大家庄地区/生活課題



生活課題については、大家庄地区全体で70件の意見をいただき、そのうち、健康・福祉に関する意見が一番多く、22件で全体の31.4%となった。次いで生活基盤に関するところが15件で21.4%、3番目に多かったのは、交流に関するところが10件で14.3%となった。

1. 子育て・教育については、総数7件のうち子どもに関するところが4件で一番多く、次いで結婚が2件となった。
2. 健康・福祉については、総数22件のうちボランティアに関するところが7件で一番多く、次いで高齢者が4件となった。
3. 産業振興については、総数4件のうち、買い物に関するところが2件で一番多く、次いで後継者、働く場所が各1件となった。
4. 交流については、総数10件のうち子ども、住民全体に関するところが各3件で一番多く、次いで行事が2件となった。
5. 定住については、総数6件のうち地域コミュニティに関するところが3件で一番多く、次いで有害鳥獣が2件となった。
6. 安全・安心については、総数6件のうち災害全般に関するところが3件で一番多く、次いで有害鳥獣が2件となった。
7. 生活基盤については、総数15件のうち交通・移動手段に関するところが7件で一番多く、次いで、空き家・空き地が3件となった。

大家庄地区「我が地区の良い所・強み」



大家庄地区の「我が地区の良い所・強み」については、総数55件の意見をいただき、そのうち、自然・環境に関する意見が一番多く、16件で全体の29.1%となった。次いで、つながり・支え合いが11件で20%となり、災害が7件、自立・健康が5件となった。

「障害」の表記について

法令や福祉制度では、漢字を用いて「障害」としており、本計画においても第5次朝日町総合計画に基づいて同様の表記としました。

第4次朝日町地域福祉活動計画

平成31年（2019年）3月

発行 社会福祉法人 朝日町社会福祉協議会
〒939-0741 富山県下新川郡朝日町泊 418
(五叉路クロスファイブ2階)
電話 0765-83-0576 FAX 0765-83-1589

編集 第4次朝日町地域福祉活動計画策定委員会